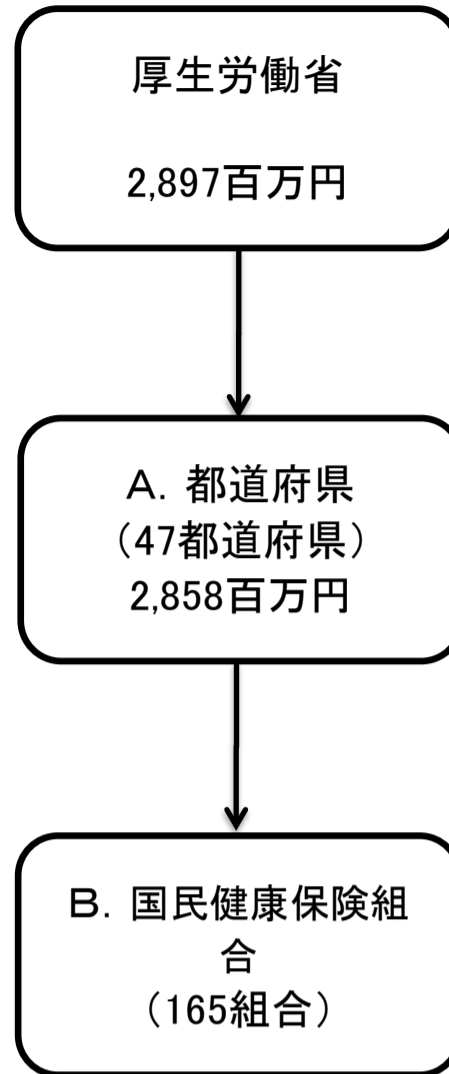


平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国民健康保険組合事務費負担金	担当部局庁	保険局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和21年度	担当課室	国民健康保険課	濱谷 浩樹			
会計区分	一般会計	施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国民健康保険法第69条	関係する計画、通知等	国民健康保険療養給付費等負担金等の国庫負担(補助)について(平成12年4月1日厚生省発保第97条)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民健康保険組合に対し、国民健康保険事業の事務の執行に要する費用を負担することにより、国民健康保険組合の円滑な事業運営に資すること。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国民健康保険事業の事務の執行に要する費用を国民健康保険組合の被保険者数を基準として、「国民健康保険の国庫負担金等の算定に関する政令」及び「国民健康保険の事務費負担金等の交付額等の算定に関する省令」に基づき算定し、都道府県を通じて国民健康保険組合に交付する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	2,657	2,644	2,897	2,599	2,562
		補正予算		111			
		繰越し等					
	計	2,657	2,755	2,897	2,599	2,562	
	執行額	2,657	2,755	2,858			
執行率(%)	100.0%	100.0%	98.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	当該補助事業は、国民健康保険組合における国民健康保険事業の事務の執行に要する費用に対し補助し、安定的な財政・事業運営に資するものであることから、定量的な成果目標を設定し、その達成度を測ることはなじまないものとする。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	実施組合数		活動実績 (当初見込み) 組合	165 -	165 -	165 (165)	164 (164)
単位当たりコスト	- (円/ )	算出根拠		-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	国民健康保険組合事務費負担金	2,599	2,562	国民健康保険組合の被保険者数の減少によるもの。			
	計	2,599	2,562				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度については、事業仕分けの結果等を踏まえ、各国保組合の所得水準に応じた補助率を設定するよう見直しを行った。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の必要性が認められるため、引き続き事業内容及び予算規模を維持すべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○平成22年度事業仕分け(第3弾)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業番号:A-10</li> <li>・事業名:所得水準の高い国民健康保険組合への補助金の見直し</li> <li>・WGの評価結果:見直しを行う(所得水準の高い国保組合に対する定率補助の廃止)</li> <li>・とりまとめコメント:それぞれの組合ごとの所得階層が大きく異なっているので、所得の低い皆さんの集団である国保組合については、従前通りのしっかりとした補助を、その代わり所得の高い人たちが集まっている国保組合についてはゼロも含めて、厚生労働省B案で進んでいただきたいということを結論とする。</li> </ul> <p>○公開プロセス(平成22年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レビューシート番号:244</li> <li>・事業名:国民健康保険組合への補助金の見直し</li> <li>・公開プロセスの際の結果:事業は継続するが更なる見直しが必要</li> <li>・公開プロセスの際のとりまとめコメント: <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政基盤に不安のない組合に対して国庫金が入ることを長期的には廃止すべし。定率分の見直しも必要。</li> <li>・特別調整補助金の「経営努力分」と特別対策補助金の廃止、定率補助と調整補助金の増額を含めた見直し。</li> <li>・本来、協会けんぽに加入すべきであるが、平成9年以前に健保の適用除外承認を受けて国保組合に加入している者の定率補助を引き下げ、協会けんぽと同様の水準に抑えるべき。</li> </ul> </li> </ul>			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A. 都道府県

補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律第26条第2項に基づき、補助金等の交付に関する事務の一部を委任。

B. 国民健康保険組合

事務の執行に要する費用に充てる。

A.都道府県(東京都)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
負担金	管轄の国保組合へ交付	1,160			
計		1,160	計		0
B.国保組合(中央建設国保組合)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事務費	国民健康保険事業の事務	281			
計		281	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.都道府県

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律第26条第2項に基づく補助金等の交付に関する事務	1,160		
2	愛知県		230		
3	埼玉県		208		
4	大阪府		198		
5	神奈川県		161		
6	兵庫県		132		
7	京都府		85		
8	栃木県		59		
9	広島県		51		
10	北海道		44		

B.国民健康保険組合

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中央建設	国民健康保険事業の事務	281		
2	東京土建		215		
3	全国土木建築		170		
4	建設連合		152		
5	全国建設工事業		137		
6	埼玉土建		129		
7	東京食品販売		102		
8	神奈川県建設連合		92		
9	兵庫県建設		88		
10	全国歯科医師		53		